

寒河江市教育委員会会議録

令和元年10月24日 開会

寒河江市教育委員会

令和元年10月24日（木曜日） 寒河江市教育委員会

○ 出席（5名）

教育長 軽部 賢 委員 鈴木 淳一 委員 國井 晴彦
委員 高橋 まり子 委員 鈴木 多鶴子

○ 欠席委員（0名）

○ 事務局職員の職氏名

学校教育課長 大沼 利子 指導推進室長 佐竹 康弘
生涯学習課長 柏倉 信一 スポーツ振興課長 小泉 尚

○ 委員会日程

教育委員会日程

午後1時30分 開議

令和元年10月24日（木曜日）

市役所4階 401会議室

1 開会

2 議事録承認

3 教育長報告

4 閉会

会議に付した事件

教育委員会日程に同じ

1 開 会 午後1時30分

○軽部 賢教育長

それでは、ただいまから教育委員会を始めます。

2 議事録の承認

○軽部 賢教育長

はじめに先月開催された前回の教育委員会の会議録承認についてお願いします。

(前回会議録を回覧の上、全出席委員が署名を行った。)

3 教育長報告

○軽部 賢教育長

それでは、つづきまして教育長報告を申し上げます。前回の教育委員会以降の主なものについて申し上げます。

9月28日、慈恩寺本山の『阿弥陀堂』特別公開展を拝観しました。「彼岸花野点俳句会」が行われた1週間前には咲いていなかった彼岸花もこの時は満開でした。

夕方5時からは寒河江中部小学校の学校医の土田秀一先生の瑞宝双光章受章祝賀会に出席いたしました。

9月29日、寒河江市美術館で開催中の若手作家企画展を鑑賞しました。

9月30日、文化財保護委員会に出席しました。今回は石持観音堂と山岸毘沙門堂にある仏像、有形文化財である彫刻を直接見ての審査となりました。

午後4時から村山教育事務所を訪問し、白林和夫指導課長、渡辺聡社会教育課長からコミュニティ・スクール導入についてご助言をいただきました。

10月1日、この日から教職員評価に係る校長面談が始まっております。佐竹室長と、白岩、西根、寒河江、高松、南部、醍醐の各小学校長先生と行っております。上期の第1次評価は佐竹室長、第2次評価は私が行いますが、評価の開示と各学校の学校経営の成果、課題について懇談をしています。

午後2時から南部小学校で外国語研修会と経験者研修会も兼ねての、5年2組の高橋幸奈教諭の外国語活動の授業を見せていただきました。山形大学地域教育文化学部の佐藤博晴教授からご指導いただきました。

午後3時から寒河江市いじめ問題対策専門委員会が市立図書館で行われております。この専門委員会はいじめ防止等のための必要な対策に関することを審議するということと学校でいじめに関して重大な事態が発生した時の調査を行うというのが主な仕事としておりますが、今回は重大事案についての報告はありませんのでいじめ防止等の対策についていろいろ意見交換を行いました。今回はネットいじめやトラブルについての取組、いじめ解消に向けての教育委員会や学校の取組について協議したところです。

10月2日、県美展・子ども県展寒河江移動展が始まっており、開会セレモニーで挨拶

撈を行っております。その後、実行委員長の安食孫四郎氏から日本画を中心にギャラリートークを行っていただきました。

その後、さくらんぼ大学歴史学部が開催されておりましたので、「最上川の船着き場をめぐる」というテーマでマイクロバスに乗り受講生の方が大江、長崎、寒河江を回って、研修をしていましたが、ちょうど本楯河岸跡、かつてここまで最上川があったという場所に合流させていただいて、宇井啓先生からのお話を伺いました。

午後1時30分からは教職員評価に係る校長面談ということで、幸生、三泉、寒河江中部の各小学校、陵南中学校、陵西中学校の順に行いました。

午後4時から市小体連会長の幸生小学校清野校長、市校長会長の寒河江小学校の志田校長がいらっしゃって、来年度から小学校の陸上競技大会と水泳競技会は行わないことが小体連評議員会で決定したことの報告がありました。評議員会というのはすべての小学校長で構成していますが、そこで決定したという報告でした。行事が少なくなっても教育の質が向上したことをしっかり見せるようにしていかないといけないのではないかと申し上げました。

10月3日、第2回寒河江市立学校のあり方検討委員会を開催しました。今回は令和10年度から新しい学校の姿になるということを検討していくことになるので、令和10年度から13年度までの児童生徒数、学級数、教職員数を示しながら、中学校の適正規模について話し合いをしました。

10月4日は教職員評価に係る校長面談で、柴橋小学校長、陵東中学校長の順で行っております。

午前11時からは市校長会長の寒河江小学校志田校長、庶務幹事の高松小学校横山校長が市校長会要望書を持参してこられ、課長、室長と対応しております。

午後3時から西村山地域振興局で開催された管内教育長会議に出席しました。今回は寒河江市に限らず、各市町も不登校の子どもたちが増えているということで、山形市の教育長から情報交換をぜひ行いたいという申し出が前回ありましたので、不登校対策の現状と課題について意見交換をしたところです。

10月5日、全国子ども会連合会表彰で佐藤傳氏が受賞したということで、祝賀会が行われ、出席し、祝辞を述べました。

10月6日、山形県少年少女スポーツ交流大会バレーボール競技の開会式が市民体育館で行われ、市長代理として歓迎のあいさつを行いました。

10時からチェリーナさがえで開催された住宅フェアを参観しました。学校教育課学事係が2日間に渡って、ずんだ餅等のふるまいを行いました。大変好評だったということです。

10月7日、三泉小学校長と面談し、新採教諭のことで情報交換をしました。

10月8日、西村山地区教育長会管内学校訪問があり、河北町立溝延小学校を訪問しました。井上和幸校長から目指す子ども像に『「かわらなでしこ」溝延が好き、溝延っ

ていいなって思える子ども』を揚げ、地域と連携した学校づくりに努めているお話をお伺いしました。

午後からは高松小学校で6年生を対象に実施したライフデザインセミナーを参観させていただきました。保護者でもある株式会社 K-TEC の加藤聡範氏が講師を務め、左官業であり、道具なども見せていただいたりして、ご自分の職業観や寒河江についての思いを熱く語ってくださいました。

10月9日、白岩小学校の公開研究会に教育委員の皆様と一緒に参観いたしました。授業参観終了後、南部小学校で行われていたライフデザインセミナーを見させていただきました。理容師の辻祐輔さんのセミナーということで、ちょうど1人の児童の髪をカットしている場面で、大変素晴らしいカット裁きを子どもたちが周りで見ているところでした。

その後、白岩小学校に戻って、シンポジウムとして村山教育事務所指導主事と市教委の阿部指導主事が中心になって進め、カリキュラムマネジメントについて実感しながら学ぶことができる体験型の研修を参観しましたが、大変好評でありました。

10月10日、西根小学校を訪問して、学校における働き方改革を先導的に行っているということで、校長先生に来年からのコミュニティ・スクールの導入についてお願いをしました。

午後2時20分から市美術館で始まった、郷間正観新作鑑賞会を鑑賞しました。

午後4時からはお一ばん寒河江店前で、赤い羽根共同募金の街頭募金を行いました。

10月12日、13日は台風19号が猛威を振るい、災害対策連絡本部が設置されましたので、対応しています。自主避難所が6か所開設されて、合計39名の方が自主避難をしております。小中学校では雨漏りの被害報告が半数の学校でありました。三泉小学校ではバックネット北側支柱の根元陥没、陵西中学校ではソフトボール部のビニールハウスが破損するなどといったことがございました。13日に予定されていた市一周駅伝競走大会は前日に中止を決定いたしました。

10月14日、西部地区子ども会育成会球技大会に出席し、来賓挨拶を行いました。

10月16日午前中、市陸上競技協会長がいらっしゃって、中止になった市一周駅伝競走大会のその後の対応について報告を受けました。

午後1時、臥龍ライオンズクラブの水戸部会長をはじめ幹部の方が来られて、来年度、30周年記念に山形交響楽団を招いてスクールコンサートを行うということで保護者負担分の費用を臥龍ライオンズクラブで負担していただくという話をいただいたところです。

午後2時、寒河江西村山地区水泳連盟会長の月光龍弘氏等が見えられ、寒河江市小学校水泳競技大会継続に関する要望書の提出がありました。

10月17日、NPO 法人やまがた絆の架け橋ネットワークがフローラ・SAGAE 4階で開始した「みんなの居場所フローラ食堂」の夕食の時間帯を参観させていただきました。

た。この日は小学校が9名とその保護者とスタッフが一緒に手巻き寿司を楽しそうに食べていました。

10月18日午前中、幼児演劇教室、劇団トマトの「ピノッキオの冒険」を鑑賞しました。多くの小さい子どもたちが集中して見ていました。

その後、西根小学校の校内授業研究会で、會田晃子教諭の6年理科の授業を参観しました。

午後1時、小中学校の監視カメラの入札があり、執行しました。

午後4時からは管内教育長会議が西村山地域振興局であり、出席しました。

10月19日、山形市球技場で開催された県中学校新人大会南ブロック大会サッカー競技1回戦の陵南中と上山北中の試合を観戦しました。2-0で陵南中が快勝しました。

10月20日、女子駅伝の選考会も兼ねた秋季ロードレース大会で来賓挨拶をしております。男女とも河北中学校が優勝しました。

その後、市民体育館で空手道選手権大会に出席しました。

午前10時から児童文化賞（SJC賞）授与式が開催され、審査委員長ということでしたが、今年度は陵東中学校のボランティア活動が優秀賞、寒河江臥龍太鼓保存会が文化芸能部門で優秀賞を受賞しました。ボランティア部門に今回は審査委員が高い点数をつけていましたが、特に陵東中学校については、町会長さん方と合意形成しながら行っているボランティア活動に対して高い評価をいただいたところです。

午後2時から混声合唱団定期演奏会を鑑賞いたしました。

10月21日、議員懇談会で中部小学校と南部小学校の学校給食調理業務の民間委託について説明を行いました。

その後、西村山地区教育長会管内学校訪問ということで西川小学校を訪問しました。統合して8年目、コミュニティスクールをスタートさせて4年目の学校経営について学ばせていただきました。

午後4時から、山形県教育委員会職員表彰伝達式を行い、勤続25年の方への表彰になりますが、寒河江中部小の佐藤和則教諭、柴橋小の高橋昭彦教諭、陵東中の菅井耕一教諭、真木敬哲教諭に表彰状を授与するとともに祝辞を述べました。

10月23日午前中、医師会の小松栄一先生がいらっしゃって、これまでも医師会と教育委員会で、先生方の健康管理に関する連携協定について話し合いを続けておりましたが、小松先生から具体案を持ってきていただいて、それを基にいろいろ話し合いをしました。今後協定書を完成させて、実施に向けて進めていくことを確認しました。

午後からは、横浜市在住で文科省のコミュニティスクールマイスターである竹原和泉氏から「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」と題する講話をお聞きしました。子どもの未来のために、まちの未来のために、コミュニティ・スクールは有効であると、実感することができました。

10月24日午前中、清野小体連会長と志田小学校長会長が見えられ、水泳連盟からの要望書の内容を勘案した形でもう一回話し合いを校長会で行い、作成した保護者向けの文書を持参されました。

午前11時から、県の戦没者追悼式が寒河江会場でありました。陵東中の細谷君と陵南中の橘さんの中学生代表作文がとても素晴らしい内容でした。

以上になります。何かご質問等はございませんか。

○國井晴彦委員

10月17日のみんなの居場所フローラ食堂とは、これはいわゆる子ども食堂になるのですね。目的は貧困対策なのか居場所づくりなのでしょうか。

○大沼利子学校教育課長

居場所づくりになります。県から補助金がもらえるのですが、県の補助金は貧困対策だけではだめで、学習支援や子どもの放課後の居場所づくりなどを含まないといけないので、寒河江高校の生徒が勉強を見たりして午後4時から6時までは勉強タイム、6時からみんなで食事をするというような形になっているようです。

○軽部賢教育長

この日は、学習支援についてはこれからだということで、食事のところだけ参観しました。

○鈴木多鶴子委員

私は午後4時頃に伺いましたが、部屋がまだ使えない時間だということでフローラの学習スペースで小学生の子が1人、スタッフの方1人が活動していたようです。

陵東中が木曜塾ということで午後4時からやっているので時間が被るなと思っていたのですが、一人で食事している子も行ってもいいのでしょうかという問い合わせがありまして、食材の準備の関係で前の日まで連絡をもらえると、ということでした。先日、QRコードのあるチラシが学校にも回ったということでしたが、すべての学校にまわったのでしょうか。

○大沼利子学校教育課長

教育委員会を通していないので、全部の学校に配布されたかは把握しておりませんが、市内全域の学校を対象にしていることでもないでしょうから市内中心部の学校が主な対象になるかと思われます。

○高橋まり子委員

10月10日のコミュニティ・スクール導入について、西根小学校の方に導入をお願いしましたとあるのですが、これは教育委員会の方針としてまず西根小にお願いしますということなんでしょうか。

○軽部賢教育長

コミュニティ・スクール導入については市校長会でも話をいたしました。校長先生方には来年度からすぐには、という方もおり、意見が統一されませんでしたので、寒河江市立学校のあり方検討委員会の委員になっている3つの学校、陵東、南部、高松の校長に取り組んでいただき、実際に成果と課題を実感していただいたほうが良いのではないかと。ということで3校には実施していただき、その他、西根小学校は給食と掃除等の時間に地元の方がボランティアで入り、先生方の負担を軽減するためということで、一緒に給食を食べたり、清掃をしたりしています。そういうのは地域学校協働活動やコミュニティ・スクールと近いのではないかと。ということで、積極的に広げて欲しいということで西根小校長にお話をしました。また、現在、柴橋地区にコミュニティセンターを建設中で、多世代交流センターをどのように運営していくかということも柴橋小校長も入って議論しており、地域や学校と一緒にやっていく時期でもあり、同じ時期にコミュニティ・スクールも立ち上げて、連動してやりたいということで柴橋小も入れて進める方向で考えております。他の学校でも来年度に準備をし、再来年度には始めたいと考えているところもあるようです。

○高橋まり子委員

強制ではないけれども、全小中学校でコミュニティ・スクールをやっていく方向で考えていますということなんでしょうか。

○軽部賢教育長

聞くところによると、今は努力義務ですが、令和5年度には義務化されるのではないかと。という話も出ているようですが、文科省にも学校教育課と生涯学習課で予算要求している学校地域連携の予算がありますが、それはコミュニティ・スクールを計画しているかまたは実施しているところに優先されるようです。それで去年と同じ金額を要求していますが、予算が付くのはコミュニティ・スクールを計画しているか、または実施しているというのが一つの条件になっているので、寒河江市としては実施する学校と関連付けて予算要求をして、少しずつ気運を盛り上げていくとともに、実際やってみての良さを実感してもらうことから、来年度、先ほど申し上げた5校で実践していきたいということで考えています。

○鈴木多鶴子委員

そういう場合、コミュニティ・スクールの導入にあたって担当者というのもつくようになるのでしょうか。

○軽部賢教育長

地域コーディネーターというのも今までも中学校に3名配置しておりますが、先ほどの5校には地域コーディネーターという形で予算要求をしているので配置していきたいと考えています。どういう人が、というと、例えば市役所OBや校長先生OBで地域と学校をしっかりと結んでくれるような地域の人材、学校と地域をしっかりとコーディネートしてくれる方を学校と教育委員会で人選していかなければいけないのではないかと考えているところです。そうでないと全部、学校の教頭や教務主任の先生がそういった役割をすると、学校がますます忙しくなってしまうのではないかと思います。今は国県市1/3ずつの補助事業ですが、将来的に義務化になれば、補助がなくなって市の持ち出しでやらなければいけなくなるのではと思います。まずは、やりながら精度を高めていこうということなので、立派な形にはならないにしても、今、学校は地域との連携を一生懸命やっているのではないかと市民の方も感じていらっしゃるし、神輿の祭典にも陵東中学校では144名が参加したり、ボランティアも積極的にやっていて、そういう連携が進んでいるということで更にコミュニティ・スクールという制度も取り入れながらやっていくということを示していきたい気持ちもあります。

○鈴木多鶴子委員

10月4日の不登校についての意見交換ということで、課題となっている不登校対策のことなのですが、こんなことで取り組んでいこう、とか話の内容の中で当面の方策が出たのであれば、教えていただきたい。

○軽部賢教育長

正直言って、どの市町も悩んでいるような現状だったと思います。寒河江市では花輪先生の研修会を開いたり、指導主事を招聘しての研修会をやったり、また学校から提出されてくる報告を見ながら、この子はどうなっているのか、指導主事から学校に問い返してその対応を聞いたりなどやっていると答えております。他の市町も同じような状況なのかなと思います。一つ一つのケースで答えが一つではないので、みんなで知恵を出しながら対応しているのが現状のようです。

4 議 事

○軽部賢教育長

続きまして議事になりますが、今回は事務局からの提出議案がございませんが、皆様の

方から何かございますか。

なければ以上をもちまして、教育委員会を閉会したいと思います。ありがとうございました。

5 閉 会 午後2時17分